

## 新体制で FY2023 シーズン初のデルタ翼 UAV 飛行試験を実施

2023.6.20 航空宇宙機システム研究センター

室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センターでは 2023 年 6 月 15 日、白老滑空場にて FY2023 シーズン初のデルタ翼 UAV (Unmanned Aerial Vehicle) オオワシの飛行試験を実施しました。今期は廣田、畠中、奥泉教員とその学生も加わり、昨年度よりもさらに手厚い陣容で飛行運用を実施しました。機体製作過程においてはものづくり基盤センター、ロボットアリーナのご助力、ご指南もいただき、学生チームの力で精細な美しい機体を完成させることができました。昨年度 12 月の飛行試験における反省点を踏まえ、主翼と尾翼の傾斜角度誤差を 0.2 度に抑え、飛行中のロールトリム調整をほとんど行わずに安定した飛行を実現しました。最高速度は 196km/h、最大加速度は 3G でした。次回飛行試験に向けてさらに運用性を向上させた機体を並行製作中です。

本機体は目下研究中の離陸から着陸までをすべて自動で行うための搭載誘導制御回路と組み合わせることにより、火山噴火、水難事故などの際に迅速に現場へ急行できる有翼ドローンなどへの産業利用やスピノフ展開が大いに期待されるものです。



飛行前の 1/3 オオワシ機体 (M2011-R501)

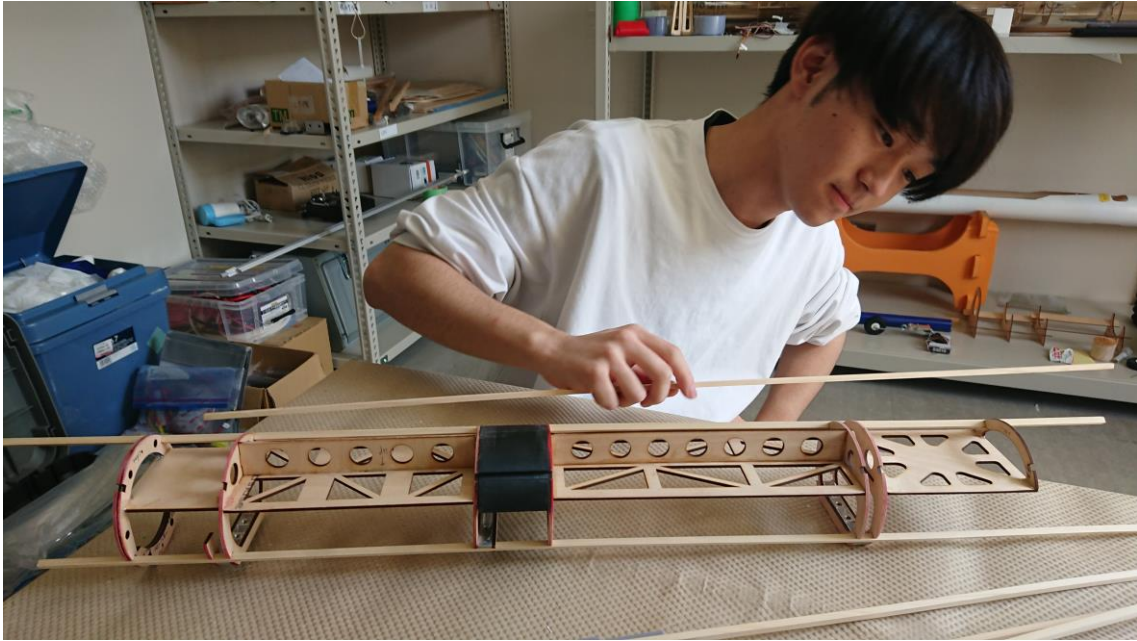


飛行試験に参加した教員と学生（教員7名，学生12名）



飛行中の 1/3 オオワシ

Canon R5 / SIGMA 150-600mm F5-6.3 DG OS HSM / 1/1250 秒 f29 ISO1250 シャッター優先



胴体内部構造の組み立て



主翼取り付け精度の最終チェック